



教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」
〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3568 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-ky.ed.jp

人間らしいもの（思い）

校長 佐藤 太

先日の合唱コンクール・学習発表会は、舞台上上がったどのクラスや出演団体も大変素晴らしい発表でした。今回も運動会に続き、生徒一人一人の思いが行事を大成功に導き、会場一杯に感動を与えてくれました。

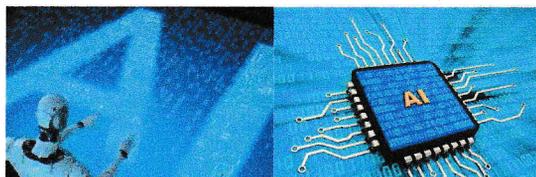
特に合唱では、圧巻の見事な3年生の合唱、御成門中のバトンを受け継ぐ実力を見せた2年生のハーモニー、先輩の背中を追いかけ元気よく歌い上げた1年生の歌声、それぞれ御成門中生の姿に心が高鳴りました。また当日は、ご来場いただきました保護者・地域の皆様には、温かな応援をありがとうございました。

ところで、なぜ、合唱コンクールでの皆さんの歌声は、聴衆の心を惹きつけ、驚嘆みにしたのでしょうか。科学が発達し、人工知能（AI）が活躍する世の中です。自ら考え判断ができるAIは、囲碁や将棋の世界では、世界の達人をも負かす優れた力があります。そのAIが、世界中で発表された膨大な音や声の情報を取り入れて作ったAI合唱を想像してみてください。理屈の上では、AIは各クラスの課題曲・自由曲で美しい合唱を作り出し、上手に歌えるかもしれませんが、あの日のように皆さんの心を動かすでしょうか。

私は、AI合唱では、人の心へ伝えきれないもの、奏できないものがあると思います。

それは、一人一人の個性や異なる考えの仲間の集まり、当日までの道のりで、それぞれが奮闘し合い、悩み、もがきながら、それでも当日懸命に思いを重ね合わせて出来上がった合唱に、答えがあると思います。例え、どのような発表になろうとも、そこから醸し出される思いを乗せた歌声は、実に人間らしく、オリジナリティや味わいに溢れています。その思いの詰まったハーモニーに触れたとき、私達は心を揺さぶられるのです。いかにAIが優れていても、人の思いには及ばないでしょう。その歌声を織りなす一人一人の心の働きや思いは、人間にしか表現できない人間らしい豊かな営みなのです。友と友、仲間と仲間の中であって、出来上がる唯一無二の歌声が、聴く人の心を打つのだと思います。

毎日を歩む中で、同じ日は二度は来ませんし、同じ合唱もきっと歌えないでしょう。だから、毎日、一瞬一瞬が大切です。これまでの仲間との学習や学校生活のかかわりの中で育まれた合唱は、まさに豊かな秋の実りと言えます。その御成門の仲間の中で育まれた実りを共に分かち合い、次への力につなげてほしいと願っています。



<季節は動く>

11月（霜月）。芝公園の木々も色着きはじめました。暑かった日々からいつの間にか秋が深まり、直に木枯らしが吹く日もくるでしょう。もうすぐ冬の訪れです。やはり、季節は動くものです。

きっぱりと冬が来た

八つ手の白い花も消え

いちょうの木も箒（ほうき）になった・・・

詩人・高村光太郎の詩集『道程』にある「冬が来た」の書き出しです。冬に立ち向かう力強さを感じる句です。秋は、これまでの積み重ねが、形となって実を結ぶ季節ですが、これからは少しずつ冬を迎えます。冬の寒さには厳しいものがあります。そして冬の厳しさを嫌がったり、避けたい気持ちが出ることも・・・。

では、冬＝厳しさに置き換えて、今の我が身を振り返ってみてください。大変だと感じていることにどう向き合っているのでしょうか。大切なことは、自分の成し遂げたいことや目標に向かって、目の前の厳しいことから目をそらさず、果敢に挑戦し、厳しさに負けずに挑んでいくことだと思います。

2学期後半に突入しました。日々、勉学に励み、自分の力をつけよう。毎日を全力で頑張れ。